

議会だより



# あやがわ



羽床上こども園運動会 (10月3日)

2021

NO. 62

令和3年10月22日  
香川県綾川町

|               |        |
|---------------|--------|
| 定例会・臨時会・審議結果  | 2P～4P  |
| 令和2年度決算監査報告   | 5P     |
| 委員会報告         | 6～10P  |
| 一般質問          | 11～19P |
| 議員表彰・がんばっじよるで | 20P    |



綾川町議会ホームページ



## 9月定例会

# スマホ決済ポイント還元事業 1億円（増額補正）

9月定例会は9月6日から

10日までの会期で開催した。

会場は、新型コロナウイルス

感染症拡大防止対策のため、

綾南農村環境改善センター2

階多目的ホールで行った。

初日は町長による議案9件、

諮問1件、報告2件の提案理

由の説明があった。

また一般質問に9議員が登

壇し、執行部の考えを質した。

提案された議案は、関係常

任委員会及び特別委員会に付

託し、散会した。

10日に本会議を再開し、各

常任委員会での審議内容につ

いて報告を行い、原案どおり

可決した。

「令和2年度一般会計及び

特別会計、公営企業会計の決

算認定」は12月までの継続審

査とし、決算審査特別委員会

に付託した。

今定例会の傍聴については、

新型コロナウイルス感染者が

## ●綾川町防災行政無線（移動系）更新事業（購入）

### 物品売買契約の締結

12日まで「緊急事態対策期」が実施されていたため、控えていただいた。



スマホ決済ポイント還元事業

### 条例の制定

●綾川町議会議員及び綾川町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例

公職選挙法の一部を改正する法律等の改正に伴い、町村の選挙における立候補に係る環境改善を図るため、選挙公営の対象が拡大するための条例を制定。（広報あやがわ10月号P3参照）

### 条例の改正

●綾川町個人情報保護条例

デジタル改革関連法施行に伴い、「行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」の一部改正。それにあわせて情報提供ネットワークシステムの設置・管理主体が総務大臣から内閣総理大臣に変更されたこと、また、特定個人情報の提供範囲が追加されたことにより、当該番号が1号ずつ繰り下がることによる改正。

●綾川町行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例

「デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律」に基づき「行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」が一部改正され、特定個人情報の提供範囲が追加されたことに伴い、参照する項番が変更になるための改正。

### ●綾川町手数料徴収条例

「行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」の一部改正により、地方公共団体情報システム機構が個人番号カードを発行するものとして明確化された。これに伴い、個人番号カードの発行に係る手数料徴収の事務を同機構から住所所在地町村長に委託することができるとする規定が盛り込まれたことを受け、条例の改正をするものである。

人権擁護委員の推薦同意

任期満了（令和3年12月31日）に伴い、委員の推薦に同意した。

西山 修（70歳）  
綾川町羽床上1202番地2

再任



原 俊則（64歳）  
綾川町西分655番地

再任



決算審査特別委員会設置

12月議会で報告できるよう、令和2年度一般会計・特別会計決算内容を審査する。

決算審査特別委員会

委員長 三好 重徳  
副委員長 十河 茂広  
他、議長及び議会選出  
監査委員を除く12名

9月定例会（9月6日～10日）

■全会一致の議案

| 議案の内容  | 議決結果 |
|--|------|
| 綾川町議会議員及び綾川町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定                                 | 原案可決 |
| 綾川町個人情報保護条例の一部改正   | 〃    |
| 綾川町行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正 | 〃    |
| 綾川町手数料徴収条例の一部改正  | 〃    |
| 物品売買契約の締結（令和3年度 綾川町防災行政無線（移動系）更新事業（購入））                                | 〃    |
| 令和3年度綾川町一般会計補正予算（第3号）※下記参照   | 〃    |
| 令和3年度綾川町国民健康保険診療所特別会計補正予算（第1号）   | 〃    |
| 綾川町過疎地域持続的発展計画   | 〃    |
| コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書                                      | 〃    |

※令和3年度綾川町一般会計補正予算（第3号）の内訳（歳出のうち主な増額補正）

1億9014万1千円を増額し、総額99億9272万6千円とした。（千円）

|                         |         |
|-------------------------|---------|
| 地方振興費                   | 4,900   |
| 合併処理浄化槽設置整備事業費          | 15,728  |
| 町単土地改良事業費               | 3,250   |
| 商工業支援事業費（スマホ決済ポイント還元事業） | 100,000 |
| 観光振興事業費                 | 15,000  |
| 町道新設改良事業補助金             | 15,506  |
| 中学校建設費                  | 26,300  |
| 農地災害復旧費                 | 6,668   |





町道北小路北線道路改良工事

## 工事請負契約の締結

## ●昭和公民館エレベーター設置工事

契約金額（消費税込）

9119万円

契約者

(株)高岸工務店

代表取締役 松木 良太

工期

令和3年10月8日

～令和4年3月25日

## 工事請負契約の締結

## ●令和3年度町道北小路北線道路改良工事

契約金額（消費税込）

6050万円

契約者

西原建設(株)

代表取締役 西原 俊作

工期

令和3年10月8日

～令和4年3月25日

## コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書

新型コロナウイルスの感染拡大は、変異株の猛威も加わり、我が国の各方面に甚大な経済的・社会的影響を及ぼしており、国民生活への不安が続いている。この中で、地方財政は、来年度においても巨額の財源不足が避けられない厳しい状況に直面している。

地方自治体においては、新型コロナウイルス感染症対策はもとより、地方創生、雇用対策、防災・減災対策、デジタル化や脱炭素社会の実現とともに、財政需要の増嵩が見込まれる社会保障等への対応に迫られており、このためには、地方税財源の充実が不可欠である。

よって、国においては、令和4年度地方財政対策及び地方税制改正に向け、下記事項を確実に実現されるよう、強く要望する。

## 記

- 1 令和4年度以降3年間の地方一般財源総額については、「経済財政運営と改革の基本方針2021」において、令和3年度地方財政計画の水準を下回らないよう実質的に同水準を確保するとされているが、急速な高齢化に伴い社会保障関係経費が増大している現状を踏まえ、他の地方歳出に不合理なしわ寄せがなされないよう、十分な総額を確保すること。
- 2 固定資産税は、市町村の極めて重要な基幹税であり、制度の根幹を揺るがす見直しは、断じて行わないこと。また、生産性革命の実現や新型コロナウイルス感染症緊急経済対策として講じられた固定資産税等に係る特例措置は、本来国庫補助金等により対応すべきものであり、今回限りの措置として、期限の到来をもって確実に終了すること。
- 3 令和3年度税制改正により講じられた土地に係る固定資産税の課税標準額を令和2年度と同額とする負担調整措置については、令和3年度限りとすること。
- 4 令和3年度税制改正により講じられた自動車税・軽自動車税の環境性能割の臨時的軽減の延長について、更なる延長は断じて行わないこと。
- 5 炭素に係る税を創設又は拡充する場合には、その一部を地方税又は地方譲与税として地方に税源配分すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和3年9月10日

香川県綾川町議会

提出先:衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・財務大臣・総務大臣・経済産業大臣・内閣官房長官・経済再生担当大臣

# 事業の優先度、重要度を明確にし、実効性のある計画を立て、持続可能な行財政運営にむけて、全庁的な取り組みを。

代表監査委員 わたなべ のぶ お 渡邊 宣夫



綾川町一般会計及び特別会計並びに企業会計の決算審査を実施し、慎重に審査した結果、いずれも正確に経理されており適正であると認められました。

## 決算結果

令和2年度一般会計及び特別会計の決算額は、前年度と比較、歳入額で、33億945万円（17・8％）増の218億8064万円余。歳出額で、38億1222万円（22・1％）増の2733万円余。収支共に、前年度を大幅に上回った決算額であり、実質収支額は、6億6093万円の黒字決算となっている。

また、自主財源と依存財源の構成割合は38・6％対61・4％で、依存財源においては、主にコロナ対策事業を要因として国庫支出金が増額となったため、前年度比較で割合比率が大きく増加している。

## 健全化判断比率

「実質赤字比率」、「連結実質赤字比率」及び「将来負担比率」は該当なく、また、「実質公債費比率」においても良好な状態を維持している。

## 公営企業会計

陶病院の事業収益は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、入院、外来、検診共に、受診控えが目立ち、前年度に比べ、大幅な減収となっている。

コロナ収束後を見据え、地域連携室との連携を一層強化し、患者のニーズに対応した医療サービスの充実と提供に努めてほしい。

介護老人保健施設は、短期入所が前年に比べ減少したものの、入所及び通所を合わせた全体では、利用者・収益ともに増加しており、一定の経営努力は評価できる。

しかしながら、抜本的な経営改善には至っておらず、町より、4千万円の補填を受ける決算となった。

令和4年度開始の指定管理者制度の導入に向けては、業務の引継ぎを円滑に行い、地域密着型施設として、より一層、健全で安定的な運営を望むものである。



令和4年度から指定管理者制度の導入が決まった老健あやがわ

## 特筆事項

令和2年度の重点施策であった「道の駅滝宮・うどん会館」がリニューアルオープンし、地域活性化の拠点として期待されているが、指定管理者に対しては、これまでのノウハウを生かした適正かつ積極的な管理運営となっているか、実地調査を含め、適切な指導監督に努められたい。

また、収納対策において、町税だけではなく、その他の

## 総評

使用料等についても、滞納者に対し、適宜、必要な措置を講じ、公平性と財源確保の観点から更なる収納率の向上を図られたい。

令和2年度は、第2期「綾川町まち・ひと・しごと創生総合戦略」がスタートし、新たな視点と更なる施策への強化に向けた各課の取り組みを確認した。若者や子育て世代への移住・定住に向けた事業も多くみられ、庁内の横断的な連携がより一層望まれる。

長期化するコロナ禍により、財源の見通しが不透明な中、主要施策を着実に推進させるため、事業の優先度、重要度を見極め、最小経費で最大効果を発揮できるよう、実効性のある計画を立て、持続可能な行財政運営に向けて、全庁挙げた積極的な取り組みをお願いする。



# 総務委員会

令和3年度綾川町一般会計  
補正予算（第3号）

## 歳出

### ●総務課関係

・総務管理費の財産管理費で、公共用地の管理業務委託料を増額補正。

・地方振興費で自治総合センターコミュニティ助成事業について4地区が採択になったことによる増額補正。

### ●中学校費

・令和2年度学校給食共同調理場空調設備改修工事において、工期延長に伴う弁当給食の町負担分の増額補正。

・統合中学校の開校に向け、綾南中学校の部室改修工事に係る設計業務委託料及び改修工事費の増額補正。

## 問 弁当給食の生徒に合う味付けの工夫は。町内業者への委託の考えは。

答 委託業者に、改めて申

し入れを行う。今後町内業者への委託は研究する。

### ●保健体育費

・全国高等学校総合体育大会綾川町実行委員会設立に伴う負担金としての増額補正。

## 歳入

### ●総務課関係

・普通交付税の増額補正。  
・繰入金の財政調整基金の減額補正。

・諸収入の自治総合コミュニティ助成金の増額補正。

令和2年度綾川町健全化判断比率及び資金不足比率について

実質赤字比率、連結実質赤字比率、将来負担比率、及び資金不足比率については該当なし。実質公債費比率はマイナス2.4%であり、健全に運営されているとの説明があった。

## 報告

9月1日に国において、デジタル庁が設置された。

それに伴い、総務課内にあ  
る電算室を「デジタル推進  
室」に名称変更する。

## 昭和公民館エレベーター設置工事

現地踏査（令和3年8月

27日）

建物の西側（外壁、2階

廊下、3階ホール）のエレ  
ベーター設置予定箇所等の  
説明があった。

## 問 今後のスケジュールは。

答 県の許可が下り次第、

9月中旬に発注、10月初旬  
に入札、工期は、5〜6カ  
月と見込んでいる。臨時会  
にて議案を上程する。

## 防災行政無線（移動系）の更新事業

防災行政無線のデジタル  
化に伴い、各消防団関係の  
携帯無線機の購入。購入費  
は無線機65台、215.9万  
3千円である。

問 デジタル化になると、  
実行エリアが減少しないの  
か。検証は。

答 枋所地区の一部等に入  
らないところはあるが、概  
ね網羅できている。

## 羽床小学校トイレ改修工事の内容変更（身障者用手洗い場設置）について

問 当初の設計ミスではな  
いのか。変更工事費の単価  
は。

答 当初から計画すべきで  
あった。単価は、刊行物で  
決められているものである  
が、精査していく。

問 施設でのバリアフリー  
化を進めていただきたい。  
他の学校の状況は。

答 体育館下のトイレで対



建物西側にエレベーター設置予定の昭和公民館

応できていない学校もある。今後、改修する際に検討していく。

その他

**問** 地域おこし協力隊の活動の紹介は。

**答** 広報と協力隊のフェイブックで報告している。今後は、ホームページでの紹介も検討する。

**問** コロナ対策で「3密」回避としてZOOMで教室と空き教室を結んで授業としては。

**答** 空き教室のない学校では、広い特別教室などを利用して、距離をとる工夫をしている。

**問** 町税等のキャッシュレス決済導入の進捗は。

**答** スマートフォン決済アプリ導入を検討中であり、金融機関・関係各課と協議中である。

**問** 図書館の電子図書の充実。また障がい者・高齢者へのサービス内容は。

**答** 電子図書コンテンツは、他市町と比べても充実しており、今後も充実を図っていく。また障がい者・高齢者向けサービスとして、サピエ図書館へ本年8月加入し、点字・音声図書のサービスが可能となった。あわせて現在209冊の大活字本・21冊のLLブックが蔵書されており、サービス内容のPR・周知の強化を図っていく。

厚生委員会

綾川町手数料徴収条例の一部改正について「住民生活課」

※P2参照

**問** 地方公共団体情報システム機構とは。

**答** 国と地方公共団体が共同で管理する法人である。

老健あやがわの指定管理移行準備状況について

**問** 準備室の設置時期と場

所は。

**答** 準備室は7月20日に庁舎内に開設している。

**問** 老健の指定管理に伴う修繕等の発注方法、リスク分担及び契約満了後の対応は。

**答** 発注、リスク分担については今後、協議をしていく。契約満了後は、町と指定管理者との協議を実施する。

**問** 施設の転用及び陶病院の空床利用並びに町職員の派遣は。

**答** 老人保健施設としての指定管理であり、他の施設への転用は行わない。また医療施設である陶病院の利用は考えていない。町職員の派遣についても考えていない。

**問** 移行への進捗状況について。

**答** 9月中旬から町と職員との個別相談、指定管理者と職員との個人面談が始まる。

新型コロナウイルス接種状況について「健康福祉課」

10月9日をもって新型コロナウイルスワクチン集団接種を終了し、以降は個別接種で対応する。

**問** コロナの影響で中止になっている事業への対策は。

**答** 大勢を集めての事業はまだ難しい。事業内容により、感染対策をとり実施に向け工夫していく。

**問** 感染予防効果は未接種者と接種者で比較して大きい違いはないという学者もいるが。

**答** 効果は、厚労省からの情報に基づき周知をしている。

**問** ワクチン接種を進めていくと同時に、基礎免疫力や健康的な生活習慣・食習慣を高めることが基本となる。どのように考えているのか。

**答** 現在実施しているラジオ体操や健全な食生活・適切な運動等の重要性について、引き続き周知していく。

**問** 早い段階で取り組んだ集団接種は、住民からも高評価であった。それが、個



ワクチン接種会場

別接種のみになることで、接種率の伸びの低下につながらないのか。

**答** 個別接種は医療機関（7病院）の対応となるが、今現在、集団接種で従事されている医師や看護師等の方が多く、要領も把握している。スムーズな移行ができるかと認識している。

**問** 若い方に対しては、ワクチンの効果や重症化リスク、副反応、死亡者数などを明示し、同調圧力にならないよう、個人で判断ができるような正確な情報提供を。

**答** ワクチン接種は、最終的には個人の判断となる。ワクチンの効果と副反応の両面について、今後も周知・啓発していく。

**問** 過去にアナフィラキシー症状のあった方などで、接種できない人もいる。あくまでも任意接種であることを伝え、配慮を。

**答** 決して圧力ではない。

希望する方が希望する場所で接種できるよう今後も進めていく。

**買物弱者支援事業の実施状況について（健康福祉課）**

売り上げ自体は昨年同時期とあまり変わらない。今年度、車両を1台追加する予定であり、地区、曜日、ルート等について、商工会

と検討中であり、よりきめ細やかな営業に努めていく。

**問 町の補填金額は。**

**答** 直近四半期で20万円の赤字に対し、イオンと町で半分ずつ補填している。

**滝宮こども園の雨漏りについて（子育て支援課）**

今回の屋根修繕工事は、遊戯室を除く2階部分につ



移動スーパー E-Wa（イーワ）

いて、既存の屋根の上に新たに別工法で屋根材を葺く工事を、令和3年9月8日から開始する。また、修繕費用は、瑕疵担保期間中であるため全額を業者が負担する。

瑕疵担保期間＝瑕疵とは傷や欠陥のこと。瑕疵担保期間とは欠陥があるものを売ったり作ったりしたときに負うことになる責任期間

**問** 雨漏りの原因及び責任は。

**答** 結合部から水が入り、何らかの理由で防水シートが破損し、野地板の隙間から漏水したと考えている。保護者や町民の方に不安を与えている責任はあり、二度と同じことにならないように努める。

**問** 工法の変更理由及び変更に伴うメ리트・デメリット、施工期間は。

**答** 今回の工法は雨水の流れもよくなり漏水も防げるという理由から変更した。

また、この工法は工事期間を約40日間に短縮でき、既存の屋根材を撤去する場合に比べ、建物への汚れや傷を低減することができる。工法変更によるデメリットはないと考えている。

**問 保証については。**

**答** クロスのシミ等も含め、2年目の瑕疵検査で対応していく。

**問 施工中の監理は。**

**答** ㈱内藤建築事務所が行う。

**報告**

令和4年度以降の山田こども園粉所分園の入園申込みの受付は行わない。今後の活用方法等は地域の意見を聞きながら検討していく。

**要望**

南原児童館の他にも新たに児童館の設置を検討して欲しい。

**答** 広い地域の子ども達が集える場として、今後検討していきたい。



# 建設経済委員会

令和3年度綾川町一般会  
計補正予算(第3号)

## 建設課関係

・合併処理浄化槽設置補助金及び、生活道災害復旧支援費補助金、町道新設改良事業補助金について、申請件数の増加や事業実績に伴う増額補正。

## 経済課関係

・水難事故防止啓発看板作成に要する経費及び、スマホ決済ポイント還元事業の実施見込みによる増額補正。域内連携促進実証事業実施に伴う委託料の増額補正。本年7月の梅雨前線豪雨災害による農地及び施設3か所の農地災害復旧事業に係る増額補正を行うものである。



町道松林荘線を現地踏査

**問** 合併処理浄化槽設置補助の再開に係る周知方法は。

**答** 町ホームページにおいて周知する。また、問い合わせのあった事業者等については個別に周知する。

**問** スマホ決済ポイント還元事業の実績は。

**答** 今回の補正は見込みである。確定次第ペイペイ(株)からカテゴリー別の売上、町内外のユーザー数などのデータの提供があるので、それを分析し確定事業費とともに報告する。

**問** 事業実施の成果、また、高齢者対応及び今後の町のキャッシュレス化の方向性は。

**答** ポイント還元によるスマホ決済利用者の掘り起こしや、その売り上げによる事業者支援にもなっている。高齢者からの電話相談や窓口での対応もあり、利用者増に寄与したと考えている。今後は柏原溪谷キャンプ村での利用や他市町の実況を

参考として検討していきたい。

**問** スマホ決済ポイント還元事業について、還元率等も見直したうえで事業の再実施は。

**答** 町にもデジタル推進室が設置され、全国的にデジタル化が進んでいく中で合わせて検討していく。

## その他

・道の駅滝宮・綾川町うどん会館の実績」として、令和3年4月から5か月間の利用者実績報告があった。

・「献穀田拔穂式」について、新型コロナウイルス対策として出席者を制限して執り行うとの説明があった。

・「令和3年度町道北小路北線道路改良工事」について、事業の概要及び進捗状況、また「議会の議決案件となる見込みであることから、臨時議会において上程を予定している」との説明があった。

・あやがわスマイル応援券の応募、中小企業者等事業継続支援臨時給付金の申請、かがわ安心飲食店の認証状況について報告があった。

**問** 域内連携促進実証事業の「夜のいちご園」事業に関し、酒類を提供することについて、その対策は。

**答** ターゲットは20〜30代の若者を想定しており、提供する酒量も限定するなどルールを決めて十分注意しながら実施を検討していく。

**問** スマイル応援券の応募者多数のため、応募が超えた分についての対応は。

**答** 町民の希望に応えられるよう増額について検討していく。

**問** インボイス制度が令和5年から導入される予定だが、町内事業者について今後の対応は。

**答** 商工会と協議をしながら、まずは事業者への制度周知に努めていく。

## 学校等再編整備 調査特別委員会

綾川町立中学校統合準備  
検討会について

**問** 校章・校歌については、最終案か。

**答** 校章のデザインは、3案に絞り込み、色合など修正し、詳細部分も協議を重ね検討会で決定する。

校歌は、子どもたちが将来へ羽ばたく内容であり、校訓や教育方針にとらわれない新しいものとして本方案を検討会に諮り決めていく。

通学支援（スクールバス）  
と通学路対応について

**問** スクールバス利用の対象者について、自治会単位という事だが、同じ自治会でもかなり距離がある場合がある。地形や子どもの体力を考慮するなど、きめ細やかな対応を検討していた

だきたい。

**答** 同一自治会で対応する。基本的に実測6km以上を対象者とする。対象者が多い場合はスクールバス、少ない場合はタクシーで対応を検討する。

**問** 道路の安全対策の実施状況は。

**答** 防犯灯は、県道関係では府中造田線8カ所、綾歌綾川線2カ所。町道関係では休場北山線8カ所、田所線3カ所、田所1号線2カ所であり、全部で23カ所の設置計画である。このうち、田所1号線の2カ所は設置済みである。

また、大橋向原上線では、向原田所富川線との交差点におけるカラー舗装及び交差点の南側での法面補修を、中学校周辺でカーブミラーの設置を2カ所、向原公民館付近の道路改良を予定している。田所1号では、丸善工業付近で区画線を施工済みである。

**問** 残りの防犯灯の設置はいつ頃か。

**答** 21基計画のうち、7基は11月上旬に設置予定である。残りは、四国電力による建柱工事などが必要となるため、現時点では未定である。

学校運営について

**問** 教育方針は、決まったのか。

**答** 両校の間ですすめている。もう少し時間をかけ、慎重に決めていく。

その他

**問** 標準服の購入に補助金が出ないのなら、子どもたちには何かお祝いの記念品などを出す予定は。

**答** 中学校統合にあたって、何らかの支援を検討していく。

**問** 旧綾上地区の小学校校歌の保存の状況は。

**答** 歌詞や楽譜の資料を確認した。どういう形で保存するのか、今後検討していく。

**要望** 誰でも演奏できるようにぜひ公開して欲しい。各公民館に歌詞などを掲げて守り伝えて欲しい。



通学安全のために今年度町道田所1号線に設置された防犯灯





道の駅滝宮・うどん会館に隣接する田圃<sup>たんぼ</sup>



いのうへひろみち  
井上博道 議員

## 道の駅滝宮・うどん会館駐車場の拡充は

### 今後の研究課題としたい

利用者からの色々な意見があるが、道の駅建物前の駐車場が狭いのが大きな問題である。集客向上策としての駐車場拡充の考えを問う。

**問** 道の駅東側の隣接農地を買収又は賃貸借契約して整備し、駐車場として活用すれば、問題はほぼ解決したと思う。同農地買収又は賃

貸借契約の考えの有無、農地所有者との直接交渉の有無はどうだったのか。

**答** 現地は道の駅と高低差が約5mあり、候補地から外れた。盛土による嵩上げ等の費用、利用者の利便性から合理的な整備計画にならず、計画から除外した。農地所有者との交渉はしていない。

**問** 今後の集客等を考えた場合、同農地買収又は賃貸借契約による建物前の駐車場拡充は必須と思うが、どのように考えるか。

**答** 来場者の推移や新型コロナウイルスの状況等を注視し、今後の研究課題としたい。

### 前田町長の2期目統投意向は

#### 引き続き、課題解決に全力を尽くす

前田町長は平成30年4月に就任以来、道の駅滝宮・うどん会館リニューアル、滝宮認定こども園開園、女子サッカーチーム誘致等々、本町の発展に大きく貢献されている。少子高齢化、農業振興、健康福祉等々の諸問題に加え、新型コロナウイルス問題にも見舞われる現在、強力な指導・統率力を発揮できるリーダーが今後、益々求められる。

**問** 改選まで約7カ月となった現在、町づくりを引き続いて推進していくのか否かを判断し、町民や関係者にその考えを示すべき時期だと思うが。

**答** 新型コロナウイルス対策や各種事業推進が非常に重要である。残された任期を含め、引き続き、一つ一つの課題解決に全力を尽くすことが最も重要と考えている。

**問** 町長の後援会組織は盤石であると聞いている。2期目を熱望している町民も多い。引き続き問題解決にあたるが、来期以降の統投有無は今のところ断言できないと受け取ってよいのか。

**答** 今、色々な課題を抱えている。引き続き、一つ一つの課題解決に向けて全力を尽くすという事で、ご理解を頂きたい。



道路損傷箇所の撮影



ふ け り ち こ  
福家利智子 議員

## 「道路損傷等通報システム」の導入を

### 調査研究していく

**問**

町は、定期的な道路パトロールは行っているが、長雨による道路の陥没やアスファルトの剥がれ等道路の管理が行き届かない箇所も多く見受けられる。そこで町民からの道路の損傷情報をリアルタイムにスマホや携帯のカメラで撮影し、そのままメールで発信してもらうことにより写真の撮影情報で現場位

置の確認や損傷状況等把握することができ、早期の対応で事故等を未然に防ぐことができる。道路利用者の安全確保のため早急に導入する考えは。

**答**

本町では令和元年度から町内業者による町道の定期パトロールを実施すること、予防保全への転換に努め、昨年度は、251件の報告を受けている。また、国土交

通省が道路異常に対する通報を24時間受付け、道路管理者に連絡する道路緊急ダイヤルを設置している。

現時点では、既存の取り組みの成果を検証しつつ、予防保全や早期対応に努めていく。通報システムについては、当面、先進地における活用状況を調査、研究していく。

## 気候変動、災害における持続可能な営農支援を

### 収入保険を推進している

**問**

近年、気候変動・地球温暖化の影響を背景に、農作物の品質低下や豪雨災害の多発等が見られる。また、猛暑、低温といった最近の顕著な気象状況による農作物への被害は、これまで培われてきた農家の想定をはるかに超

えるものもあり、営農意欲に影響を与える。地球環境問題に向き合い、持続可能な営農支援の対策は。

**答**

気候変動など環境の変化に対しては、農業者の努力により、柔軟に対応されており県からは、天候に

じた技術情報の提供があり、JAによる営農指導も行われ、また農業共済組合では、農作物への被害に対して、収入保険を推進している。

関係機関と連携して、農業の将来を見据えた有効な対策を検討していく。





農地を守る農業従事者



あん どう とし みつ  
安藤利光 議員

## 国に米価下落対策、食糧支援を

### 国、県に要望していく

**問**

昨年来、新型コロナウイルス感染拡大で米需要が大きく減少し、令和2年米価は60キロ当たり1万4225円（前年比1147円減）に下落。しかも、昨年秋季、過剰在庫対策として、政府は令和3年度生産量を前年より36万トン減らす作付削減を打ち出し、目標はほぼ達成された。

しかし、コロナ禍で在庫が当初見通しを20万トン前後上

回り新年度に繰り越されることとが分かり、令和3年産の米価下落となった。

生産者からは、「コロナ禍による過剰在庫は、政府が買い上げて市場から隔離し、生活困窮者に供給せよ」と要求している。

町も米価下落対策を国に要望を。

**答**

町も要望していく。

**問**

令和3年産の米の前渡し価格は、60キロ当たり1万200円（前年比3300円減）とさらに下落。

農村では、農業従事者の離農が増える。米価下落対策を。

**答**

米価下落は、JAの仮渡金の下落にも表れている。町も国、県に要望する。

## 学校でのクラスター対策と広範な検査

### 綾歌地区医師会の助言をいただき対応する

**問**

新型コロナウイルスのデルタ株の感染拡大で子どもへの感染が増え、新学期が始まることに強い不安が広がっている。

感染予防のため、ワクチン接種を受けること、PCR検

査、抗原簡易キットの配布体制で陽性者の隔離保護する取り組みが必要だが。

**答**

ワクチン接種は、教員は随時接種し、児童生徒は対象者の約58%が接種済みもしくは予約済みである。

検査は、国より「抗原簡易キット」が配布される。

この検査は、出勤、登校後に体調不良になった者に行う。基本は医師が行うため、綾歌地区医師会の助言をいただき対応していく。

令和3年9月19日



開店前から100人以上の行列ができて道の駅滝宮の様子



み よ し し げ の り  
三 好 重 徳 議員

## 前田町長の来期（令和4年4月以降）の去就は

引き続き、町長としての責任を果たす覚悟である

**問**

前田町長は、平成26年9月から副町長として、また平成30年4月からは藤井前町長のお考えを引き継ぎ、長年にわたり培われた行政手腕を十分に発揮し、本町の舵取りをなされている。

この4年間で、道の駅滝宮・うどん会館のリニューアル、買い物弱者支援事業E-Wa（イーワ）などは施政の成果である。昨年初めからは新型コロナウイルスという難題に対し、綾川子育てスマイル応援金、緊急学生支援金、事業者支援金などの各種事業、またコロナワクチン接種についての整備も評価に値する。

しかし、人口減少・少子化の対策、空き家対策、農業従事者の高齢化・後継者不足の対策、健康増進施設の誘致、学校教育におけるタブレット端末活用の促進など課題が山

積するのも事実である。

人々の価値観・生活様式などが多様化し、時代が目まぐるしく移り変わる中、また普通交付税の段階的な削減、社会保障費の増加が見込まれる中での財政運営において、町行政における方向性・采配は難しいものとなっている。

課題の山積する綾川町行政の舵取りを、引き続き来期も果たされていくお考えはあるのか。

**答**

町長就任後は、藤井前町長の政治信条であった「住民の、住民による、住民のための政治」を行うべく誠心誠意、全力で町政運営に努めてきた。町議会をはじめ、

町民の皆様のご理解・ご協力に加え、行政運営に携わる町職員と一丸になって進めてきたものであり、改めて感謝とお礼を申し上げます。

振り返ると、所信表明、施政方針などでお約束した事柄について、綾川町の目指す町づくりに取り組み、各種施策については、それぞれ事業効果があつたと考えている。一方、できていないこともあり道半ばという思いである。

本町を取り巻く状況も非常に厳しいものが予想される中、これからの綾川町がさらに安心して住みやすく、誰もが住んでよかったと思える町づくりを推進するため、まだまだやるべきことがある。

残された任期（6カ月間）を含め、一つひとつの課題解決に向けて全力を尽くすことが重要であると考えている。引き続き、与えられた町長としての責任を果たしていく覚悟である。





貸出記録のできる「読書記録帳」/セルフ貸出機（オーテピア高知図書館）

こども園等でタブレットを使ったPRを研究する

実現の可能性を坂出市と協調のうえ研究する

ランクインしている。  
 今後はオンライン移住相談

♡ L

♡ G

♡ B

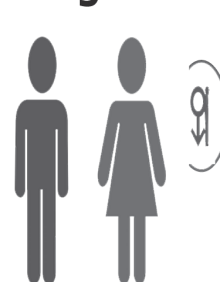
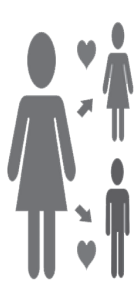
♡ T

Lesbian

Gay

Bisexual

Transgender



女性として  
女性が好き

男性として  
男性が好き

異性も同性も  
好きになれる人

「体の性」と「心の性」に  
違和感がある人



LGBTQについて（Q…性自認や性的指向が定まっていない人）



おの なお き  
大野直樹 議員

## 早急にパートナーシップ宣誓制度の整備を

### 来年度の導入をめざしたい

**問** パートナーシップは条例で制定していくのか。

**答** 「要綱」にて制定し、申請についてはふたりの宣誓によるものと考えている。

**答** 専門的な知識を要するため、町職員での対応では限界がある。

性的少数者の様々な悩みに寄り添い安心して相談できるように、相談窓口の周知徹底に努める。

**答** 制度について広報やホームページ等で広く町民に周知していく。

商工会を通じて経済団体や企業等に周知・啓発していく。

**問** LGBTQ等の性的マイノリティーの方への相談窓口と支援体制はどのように行っていくのか。

**問** 経済団体、町内企業等への周知啓発はどのように進めていくのか。

## 認知症条例の制定について

### 現時点での制定の考えはない

**問** 条例制定の趣旨は、認知症の人やその家族が可能な限り住み慣れた地域で地域社会の一員として日常生活ができ、認知症の方々に優しい町を実現することを目指すとしている。

**答** 本町では、認知症への理解を深めるための普及・啓発事業として、認知症サポーター養成講座を町職員や町内の事業所等で開催し、更に小中学校などあらゆる世代の方々へ認知症への正しい理解の普及啓発に努めている。

認知症のみならず、心配な高齢者の情報が早期に地域包括支援センターに入る仕組みづくりも進めている。

認知症基本法案の制定、施行については情報も得ながら、認知症の人や家族の視点を重視し、たとえ認知症になっても住み慣れた町で暮らし続けられるよう取り組んでいく。

自治体に対し、認知症施策に関する計画の策定を促す規則。

国会では現在、認知症基本法案が提出され審議されている。





かわ さき やす ふみ  
**川崎 泰史** 議員

商工会や民間による中小企業紹介の一例

# 人材を獲得するためのプロモーションは

## 電子媒体を中心に紹介していく

**問** 現在、地方はコロナ禍やSDGsの浸透により、注目を受けているが、中小企業では求職者とのマッチングや大規模なプロモーションができておらず人材不足になっている。町は中小企業の

**答** 情報発信についてどう考えているのか。

求職者と企業のマッチングは、多様な取組があるものの求人内容に見合う求職者が現れない。PR活動についてはコロナ禍を考慮し

て商工会と連携しインターネット等の電子媒体を中心に町ホームページ等での発信に努める。

## 人材を獲得するための拠点整備は

### 既存組織の活用と今後は研究を行う

**問** Uターン・イターンの相談先や拠点整備の検討、企業の地方移転に向けた相談等についての考え方、デュアルスクールの活用についての考え方は。

**答** Uターン、イターンについてはいいまち推進室で相談を受けている。企業情報は「瀬戸・たかまつ移住&キャリアサポートセンター」や「ワークサポートかわがわ」

などと連携し移住に対する就労支援を図る。  
地方移転については、経済課で相談を受けている。企業用地としての利用可能区域は限られているが、香川県企業立地推進課と連携し、移転希望企業に用地情報の提供を行う。小規模な事業所やサテライトオフィスの移転希望については、空き家利用も可能である。

**問** 様々な施策や施設、商工会等を連携するにあたり中核となるサカビズのようなビジネスサポートセンターを設置する考えはあるのか。

**答** 現在そういった考えはないが、今後研究を行う。



パルスオキシメーター（動脈血酸素飽和度、脈拍数測定装置）



そ ころ しげ ひろ  
十 河 茂 広 議員

# 現下のコロナ感染拡大に対する取り組みについて

## ワクチン接種機会の拡大に努める

コロナウイルス第5波の感染拡大が国を脅かしている。

県では、8月20日から9月12日まで、まん延防止等重点措置地域の対象となった。また病床の逼迫が改善されない事もあり、9月30日まで延長となった。町内では行事、行政相談等が中止また延期になり、公共施設等の利用制限が出されている。感染拡大を克服するためには、希望する方にスピード感を持って接種する事だ。現在は、集団接種と併せて個別接種も展開している。11月には希望者への2回目の接種終了見込みとのスケジュールが示されている。若者でも重症化すると報道がある。副反応については、SNS等で拡散されるデマ情報もある。公的な機関が発表する科学的知見に基づいた情報の発信をお願いしたい。

**問** PCR検査拡充の考えは。

**答** 綾歌地区医師会のご協力を得て、PCR検査センターを設置し、平日の午後には実施している。現在は無症状であっても感染の可能性が否定できない方や不安のある方など、医療機関を受診し、主治医が必要と判断すれば検査可能である。抗原検査を町内で行う医療機関もある。

**問** 高齢者、基礎疾患のある方、妊婦の方などへのパルスオキシメーターの貸し出し配布は。

**答** 感染し自宅療養中で、希望する方には中讃保健福祉事務所からパルスオキシメーターが貸し出しされている。現在保健所所有の約半数を貸し出している。家庭での購入も可能だが測定値の判断は主治医等の指導を仰ぐ必

要があるため、一般的な利用は慎重に考える。

**問** 接種率向上の対策で、経済活動、集団活動を

活発に行っている世代への接種が大事だと考える。医師会の先生方に負担をかける事になるが、夜間接種の検討も必要ではないか。

**答** 8月30日現在、町内の40歳以下の1回目の集団接種予約の現状は50・9%となっており、65歳以上の高齢者と比較して30%程低い。

低い要因として副反応への不安があり、様子を見ている方が一定数いると思われる。重篤な副反応は稀であることをお伝えしているが、今後もチラシ、ホームページ、町公式フェイスブックにも掲載していく。医師会とも協議を重ね接種機会の拡大に努める。



## 綾川町の会議録ネット公開を

全国の自治体

ネット未公開

12.3%

ネット公開

87.7%

2020年早稲田マニフェスト研究所調べ

県内

ネット未公開

綾川町 他2町

ネット公開

高松市 丸亀市 坂出市 善通寺市  
観音寺市 さぬき市 東かがわ市 三豊市  
土庄町 三木町 琴平町 多度津町  
まんのう町 小豆島町 香川県議会



み よし とう よう  
**三好東曜** 議員

国会は過去70年分全てネット公開している

国内の会議録ネット公開状況

## 会議録のネット公開について行政の考えは

### 議会運営委員会で協議を

#### 現状の問題点

本町の本会議の会議録はインターネット上に公開されていない。本会議の録画は行われており、申請があれば閲覧できるが、配信はされていない。住民から見てもより透明な議会にするために会議録のネット公開を進めるべきである。

香川県内17市町のうち、ネット公開していないのは宇多津町、直島町、綾川町の3町のみ。国会、都道府県議会は100%ネット公開済み。全国の地方議会も2014年調査時点で約80%はネット公開済みである。また、会議録の横断検索サイトもあるが本町は対応していない。

県内先進自治体は高松市。本会議、委員会ともにほぼ全文記録し、映像と共に公開している。本町も高松市と同レベルまで進めるべき。

**問** 会議録のネット公開についての行政執行部の考えを問う。

**答** 議会運営委員会で協議されるべき内容であり、執行部としての回答は控える。

**問** 問題提起として質問をした。職員が会議録を

簡単に調べる事ができると行政の課題解決の一助となり、業務がスムーズになるのでは。

**答** 組織内で報告・連絡・相談をしている。

**問** 映像及び音声の公開を行っているのは県内11自治体。庁舎内ライブ配信を行っているのは9自治体。映像や音声の配信を合わせて行っているのか。

**答** 議会運営委員会で協議を。

**問** 会議に参加していない職員も聞くことができ、教育にもなるのでは。

**答** 情報の一つにはなるが教育にはならない。

# 議員表彰

全国議長会会長より

感謝状の贈呈

河野 雅廣 議長

香川県町村議会議長会会長(令和元年6月20日〜令和3年6月19日)として、使命達成に尽力された功績により、全国町村議会議長会会長より、感謝状が贈られました。



## が ん ば の じ ょ で

### 陶錬成会剣道スポーツ少年団



代表 岡下 進一さん(左)

陶錬成会剣道スポーツ少年団は、昭和51年に開設され、現在小学生24名、中学生7名、指導者14名が登録し活動しています。特徴として、保護者が子どもと一緒に剣道をしていることで昇段し、指導者となり4段を取得された方もいます。

団の方針は、道場訓の中にもある「あいさつ」「感謝」と思いやりで、勝つことだけを重視せずに、「剣道を続ける」子どもの心の成長を目指しています。しかしながら、剣道を続けた卒団生の中には、全国大会へ出場する選手も多く、後輩に身をもって「継続は力なり」を実践し、目標となってくれています。平成24年には全日本剣道連盟から少年剣道教育奨励賞を受賞しました。また、平成26年31年には、世界大会で優勝した高鍋選手(神奈川県警)を招聘し大会を行いました。指導者、保護者、子どもの垣根がなく、いつもワイワイ楽しく活動しています。体験入団もありますので、

気軽に見学にお越しください。

●練習日時

毎週火・金曜日  
19時〜20時30分

●練習場所

陶小学校体育館

●連絡先

指導者(教士7段)  
岡下 進一

090・8692・0627



## 編集後記

9月議会も終わり実りの秋を迎えます。本来であれば秋のイベントが盛りだくさんの時期ですが、ご承知の通り、コロナウイルスまん延防止等重点措置が香川県で発令されているため、多くのイベントが中止となっています。非常に残念ですが対策も進んでいます。希望者へのワクチン接種も順調で、引き続き、コロナ対策やアフターコロナに向けての対応を議会と役場が協力して進めていきます。さて、こういう時だからこそ、換気やソーシャルディスタンスなど感染防止対策に気を付けて、しっかりと体を動かし、ストレスを溜めないようにして、免疫を高めていきましょう。

### 議会広報編集委員会

委員長 安藤 利光  
副委員長 松内 広平  
委員 三好 東曜  
委員 十河 茂広  
委員 植田 誠司  
委員 西村 宣之  
委員 川崎 泰史